

ローカル

地域しあわせラボ研究レポート



社会の課題に、市民の創造力を。
issue + design

ハッピーネス

仕事・出産
としあわせの
関係とは？

働き、産み、育てるしあわせ。女のしあわせ。

P3 女は男よりしあわせ？

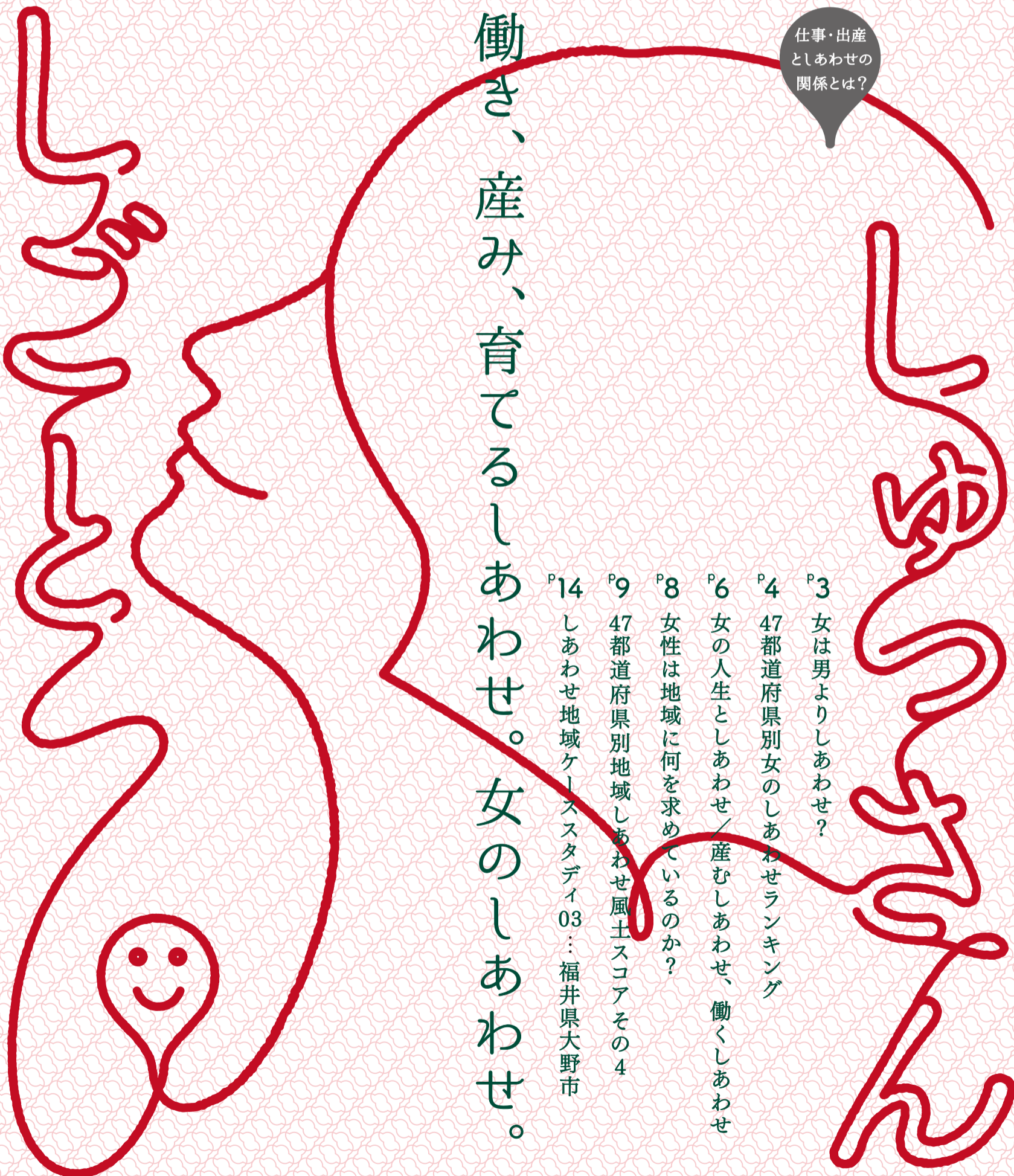
P4 47都道府県別女のしあわせランキング

P6 女の人生としあわせ／産むしあわせ、働くしあわせ

P8 女性は地域に何を求めているのか？

P9 47都道府県別地域しあわせ風土スコアその4

P14 しあわせ地域ケーススタディ03：福井県大野市

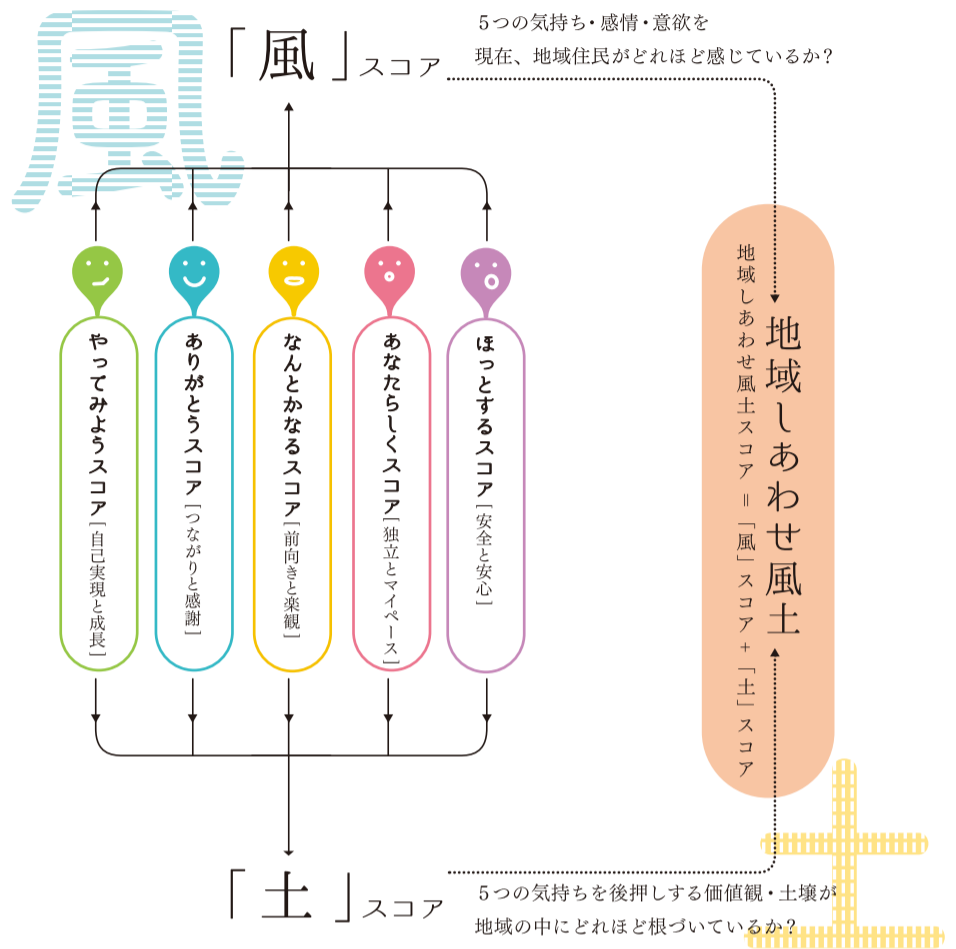


ローカルハッピネス01～03号の サマリー

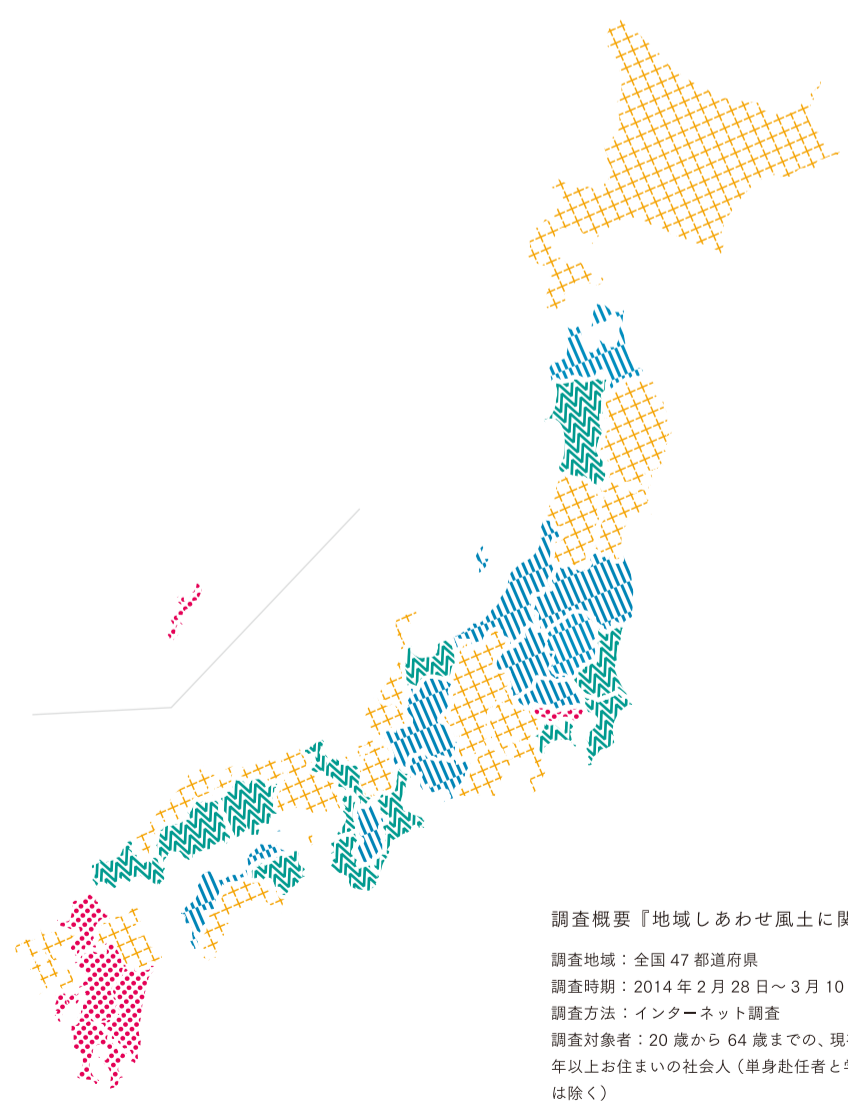
創刊号では、慶應義塾大学・前野隆司教授とともに共同開発した、地域のしあわせ5指標とその5指標で調査した地域にしあわせを呼ぶ風スコア、しあわせを育む土スコア、風と土の合計から算出する地域しあわせ風土という考え方を提唱いたしました。この考え方に基づき、全国15,000人に対する地域しあわせ風土調査を行い、47都道府県ごとのスコアを算出しました。

第2号のテーマは「人はつながるとしあわせなのか?」。この号の分析より、人間関係としあわせには強い関係性があることがわかりました。人口密度や同居家族のような物理的に近くに人がいること以上に、親戚や友人の数、所属団体の有無など広い関係性が人のしあわせに寄与するようです。

第3号のテーマは「しあわせな地域には何があるのか?」。環境、インフラ、行政サービスなど地域を構成する40の要素の充実度としあわせ風土スコアとの関係性を分析しました。風スコアは、地域の知名度や景観・まちなみ、国際性など外への発信力、ブランド力が高いこと、地域活動の機会や場、お祭など、地域活性化が進み、賑やかで元気があることとの相関が高いという結果です。土スコアは地域活動の機会や場が充実していることとの相関が極めて高く、それに加えて、医療・福祉・教育などの社会福祉関連項目との相関が高いという結果でした。



- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 沖縄県 (834.0) | 24 京都府 (647.7) |
| ② 鹿児島県 (738.0) | 25 富山県 (644.0) |
| ③ 熊本県 (730.0) | 26 神奈川県 (635.0) |
| 4 宮崎県 (729.3) | 27 和歌山県 (633.3) |
| 5 東京都 (712.3) | 28 山口県 (630.3) |
| 6 福岡県 (703.3) | 29 秋田県 (630.0) |
| 7 兵庫県 (688.7) | 30 広島県 (629.7) |
| 8 長崎県 (688.0) | 31 千葉県 (628.7) |
| 9 石川県 (686.3) | 32 茨城県 (627.7) |
| 10 岩手県 (679.7) | 33 岡山県 (626.7) |
| 11 長野県 (670.0) | 34 三重県 (624.0) |
| 12 静岡県 (669.7) | 35 徳島県 (618.7) |
| 13 福井県 (668.7) | 36 大阪府 (610.0) |
| 14 宮城県 (668.0) | 37 栃木県 (609.0) |
| 15 高知県 (667.0) | 38 奈良県 (606.0) |
| 16 佐賀県 (665.0) | 39 青森県 (604.7) |
| 17 鳥取県 (664.3) | 40 埼玉県 (604.3) |
| 18 滋賀県 (664.0) | 41 愛媛県 (602.0) |
| 19 島根県 (663.3) | 42 愛知県 (598.0) |
| 20 山形県 (662.7) | 43 香川県 (595.0) |
| 21 大分県 (662.3) | 44 岐阜県 (593.7) |
| 22 北海道 (657.8) | 45 新潟県 (592.0) |
| 23 山梨県 (656.7) | 46 福島県 (583.0) |
| | 47 群馬県 (576.7) |

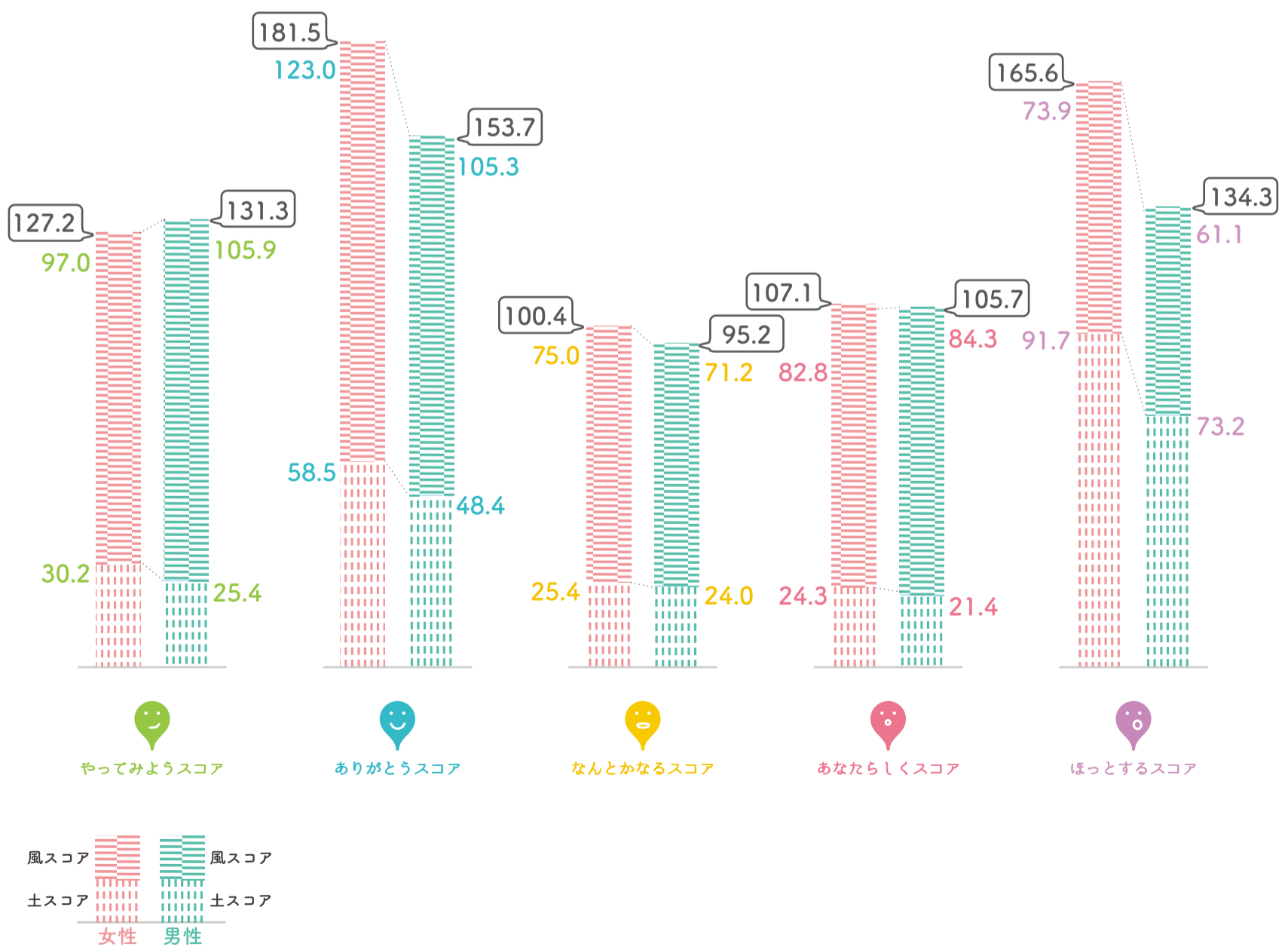
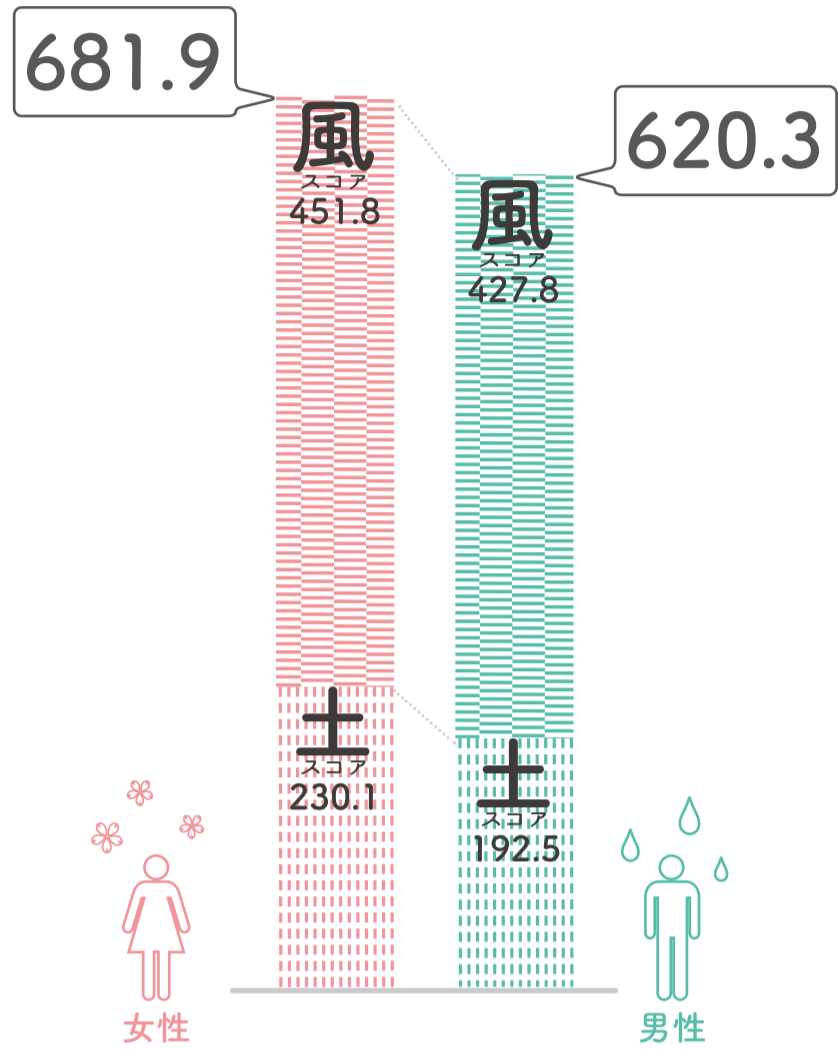


調査概要『地域しあわせ風土に関する調査』

調査地域：全国47都道府県
 調査時期：2014年2月28日～3月10日
 調査方法：インターネット調査
 調査対象者：20歳から64歳までの、現在の住まいに3年以上お住まいの社会人（単身赴任者と学業専門の学生は除く）
 サンプル数：15,000、各都道府県300サンプル（北海道のみ道東・道央・道南・道北各300）、男女各150名、20-34歳・35-49歳・50-64歳各100名

女は男よりしあわせ？

幸福論の研究の世界では、女性の幸福度が男性の幸福度を上回ることが常識のようです。博報堂生活総合研究所が2年に1度実施している生活定点調査で「あなたは、自分のことをどの程度幸せだと思っていますか？」という質問に対して「非常に幸せな方だと思う」「まあ幸せな方だと思う」と答えた人の割合も男性72.1%、女性79.5%と女性が男性を上回ります(2012年調べ)。この傾向は20年前から変わりません。しあわせ風土調査でも、風スコア、土スコア、総合スコアともに女性が男性を上回ります。5つの指標をみると、「やってみよう」「なんとかなる」「あなたらしく」の3指標では男女差はほとんどありません。風の「やってみよう」「あなたらしく」では男性が女性を上回ります。男女差が大きいのが「ありがとう」と「ほっとする」です。いずれも30ポイント近く差があります。女性は人への感謝の気持ち、豊かな人間関係を持ち、生活の安全・安心を確保する気持ちが強いいため、しあわせを感じる傾向が強いです。



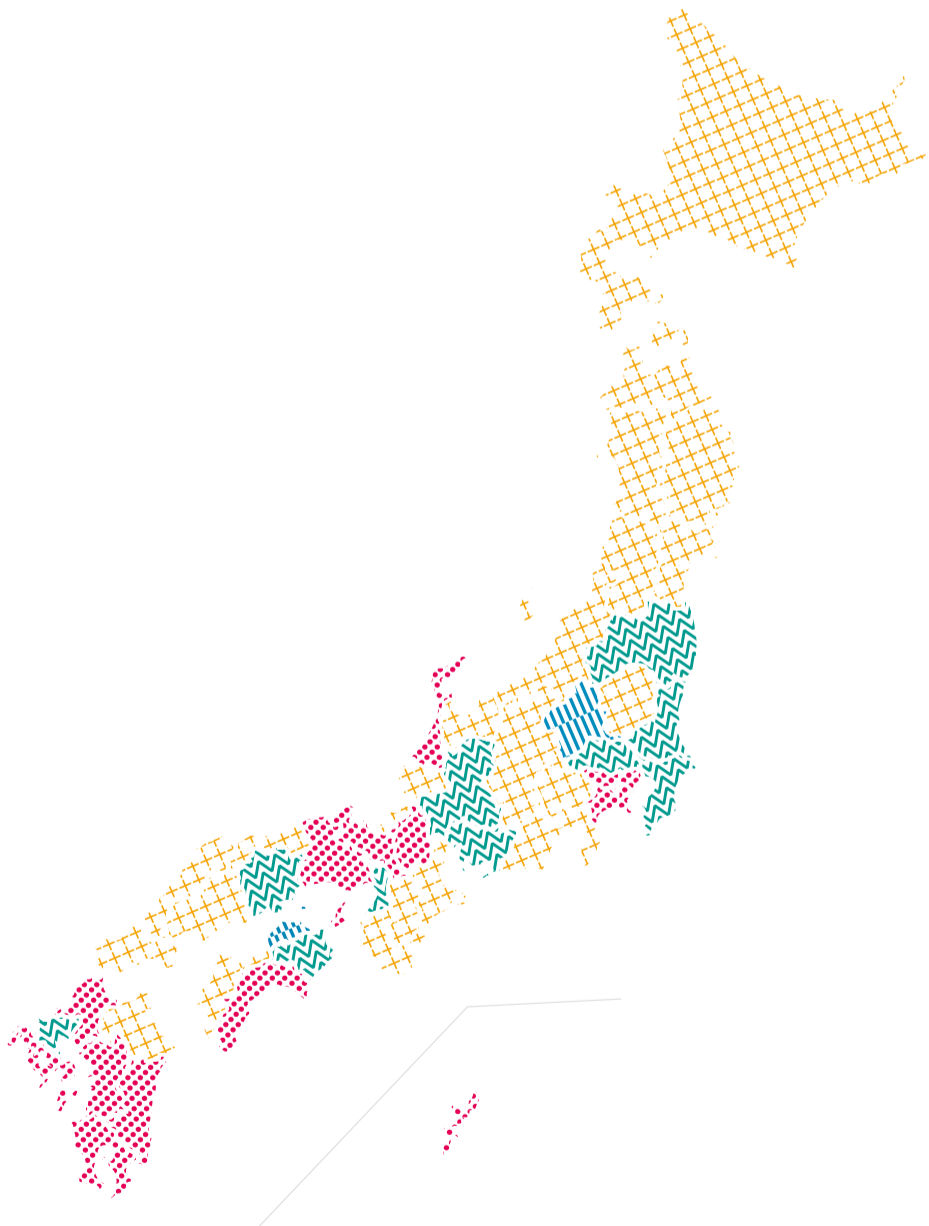
47都道府県別

女のしあわせランキング

1位は男女総合と同じく沖縄。
京都・高知・神奈川がアップ。東京がダウン。

47都道府県別の女性のしあわせ風土総合ランキングをみてみましょう。総合ランキングとは、「風」スコアと「土」スコアを足した値です。

女性総合ランキング第1位は沖縄です。2位鹿児島との得点差は100ポイント以上と突出しています。続いて3位熊本、4位宮崎まで男女総合と同順位で九州・沖縄勢の独占です。5位ようやく男女総合7位の兵庫が登場します。また7位に京都（男女総合24位）、8位に高知（同15位）、9位に神奈川（同26位）と男女総合と比べて大幅に順位をあげた3府県が並びます。また、男女総合5位の東京が11位に順位を落としているのも特徴的です。エリア別にみると、ベスト10に6県が入る九州・沖縄に加えて、高知・兵庫・京都・滋賀・石川が700ポイント以上に連なるように、西高東低の傾向がみられます。



地域しあわせ風土 総合スコア（女性）

- 700 以上
- 650 以上 700 未満
- 〰 610 以上 650 未満
- 〰 610 未満

女のしあわせランキング

総合ランキングとの差

順位	総合ランキングとの差	都道府県	スコア
①	±0	沖縄県	(932.0)
②	±0	鹿児島県	(814.7)
③	±0	熊本県	(791.3)
4	±0	宮崎県	(784.0)
5	+2	兵庫県	(768.7)
6	±0	福岡県	(728.7)
7	+17	京都府	(714.7)
8	+7	高知県	(708.0)
9	+17	神奈川県	(707.3)
10	-2	長崎県	(706.0)
11	-2	石川県	(704.0)
11	-7	東京都	(704.0)
13	+5	滋賀県	(700.0)
14	+6	山形県	(698.0)
14	+4	島根県	(698.0)
16	-2	宮城県	(697.3)
16	+10	和歌山県	(697.3)
18	+3	大分県	(695.3)
19	-7	静岡県	(690.7)
20	-7	福井県	(690.0)
21	+13	三重県	(678.0)
22	±0	北海道	(676.5)
23	±0	山梨県	(673.3)
23	-13	長野県	(673.3)
25	+3	山口県	(666.7)
26	+19	新潟県	(665.3)
27	+11	奈良県	(662.0)
28	-3	富山県	(660.0)
28	+12	愛媛県	(660.0)
30	+7	栃木県	(658.0)
31	-1	広島県	(656.7)
31	+7	青森県	(656.7)
33	-23	岩手県	(654.0)
34	-17	鳥取県	(650.7)
35	-6	秋田県	(650.0)
36	-5	千葉県	(647.3)
37	-21	佐賀県	(641.3)
38	+4	愛知県	(636.0)
38	+1	埼玉県	(636.0)
40	-4	大阪府	(634.0)
41	-6	徳島県	(627.3)
41	-9	岡山県	(627.3)
43	-11	茨城県	(623.3)
44	±0	岐阜県	(616.7)
45	+1	福島県	(610.0)
46	-3	香川県	(605.3)
47	±0	群馬県	(588.7)

女性平均 (681.9)

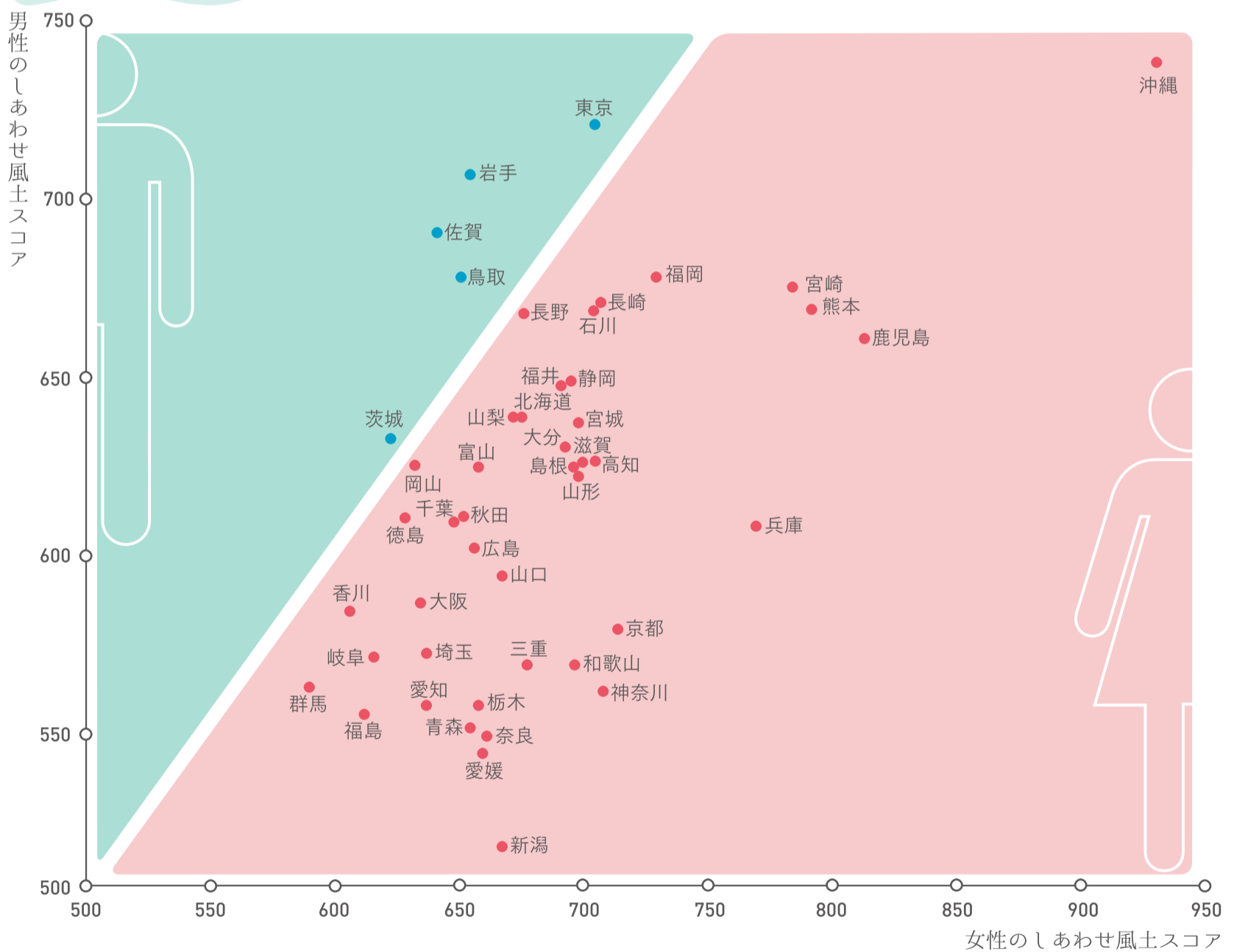
全体平均 (651.1)

男性平均 (620.2)

47 都道府県別

女のしあわせ・男のしあわせ

下の散布図は47都道府県別に女性のしあわせ風土スコアを横軸に、男性のしあわせ風土スコアを縦軸にとったものです。女性のスコアが男性のスコアを上回る都道府県はピンクのゾーンに、男性のスコアが女性のスコアを上回る都道府県はブルーのゾーンに位置します。結果は一目瞭然です。47都道府県中42道府県で女性のスコアが男性のスコアを上回ります。男性が上回るのは、東京、岩手、佐賀、鳥取、茨城の5都県だけです。東北から九州までエリアに偏りはみられません。日本の政治とビジネスの中心である東京が、男性が女性を上回ることも注目すべきことです。また、沖縄の女性のスコアが他地域と比べて突出していることもよくわかります。

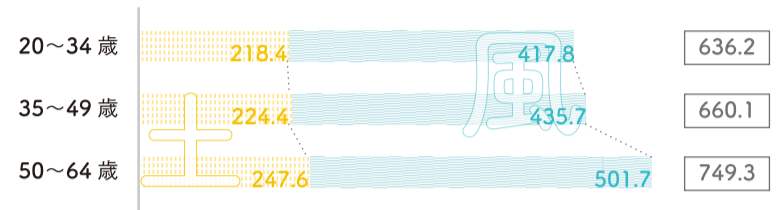


女

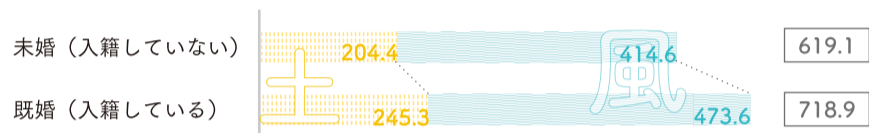
女の人生としあわせ

女性の人生としあわせにはどんな関係性があるのでしょうか？まずは年齢としあわせです。これは男女問わずの傾向であり幸福研究の世界で既に定説となっていることですが、人は年をとるごとに幸福感が増すようです。年を重ねるということは、色々な経験を通して自分のしあわせを見つけるということなのです。そう考えると、超高齢社会とは超幸福社会なのかもしれません。また、未婚、既婚で約100ポイントの差がありました。結婚してパートナーができることは、しあわせにつながるようです。子どもの数も面白い結果がみられました。子ども無しより1人、1人より2人、2人より3人がしあわせ、一方4人以上になると3人を下回ります。子どもが多いことはしあわせなもの、現代社会では3人が限界で、4人以上となると経済的な理由などで色々と困難が伴うのかもしれません。

年齢

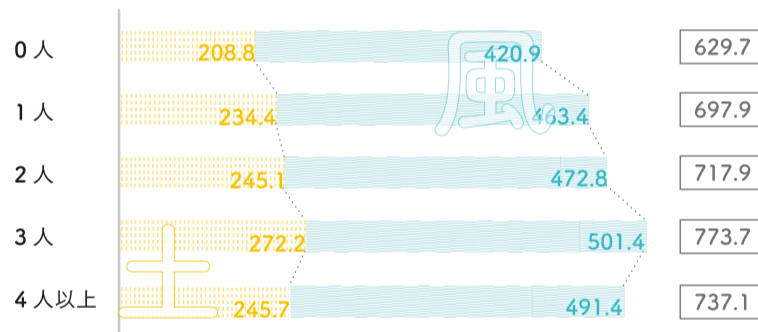


結婚

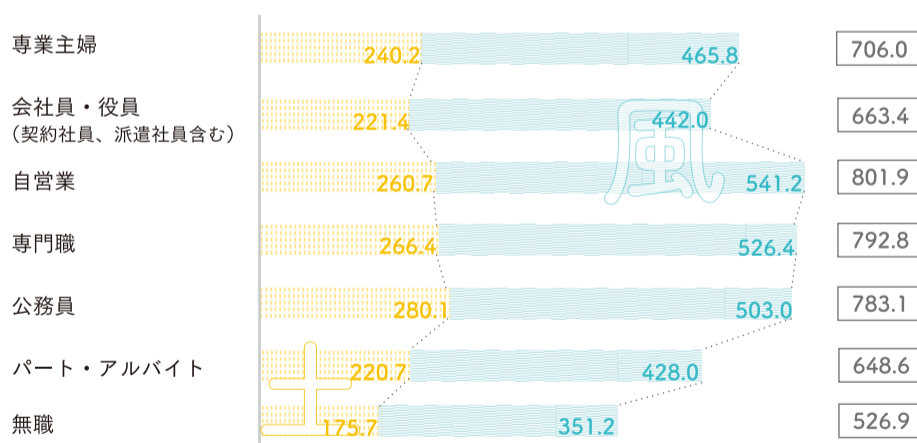


子どもの数

※4人以上は N=105



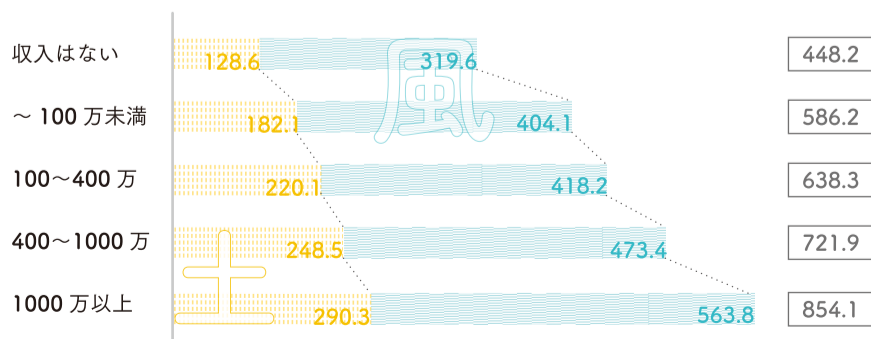
職業



職業別のスコアが興味深い結果です。最も高いのは自営業。専門職、公務員と続きます。この3つは大きな差がありません。そこから40ポイントほど離れて、専業主婦、また少し離れて会社員・役員、パート・アルバイト、大きくはなれて無職という結果です。会社員よりも専業主婦のスコアが高いのです。日本の会社組織は、女性にとってまだまだしあわせな職場環境ではないようです。

また、世帯年収は高ければ高いほどスコアは高いという想像どおりの結果です。2号で地域しあわせ風土と雇用や給与額を論じ、地域別にみると相関が見られないという分析結果を報告しました。しかし、個人個人でみてみるとやはり経済的豊かさとしあわせには相関があるようです。

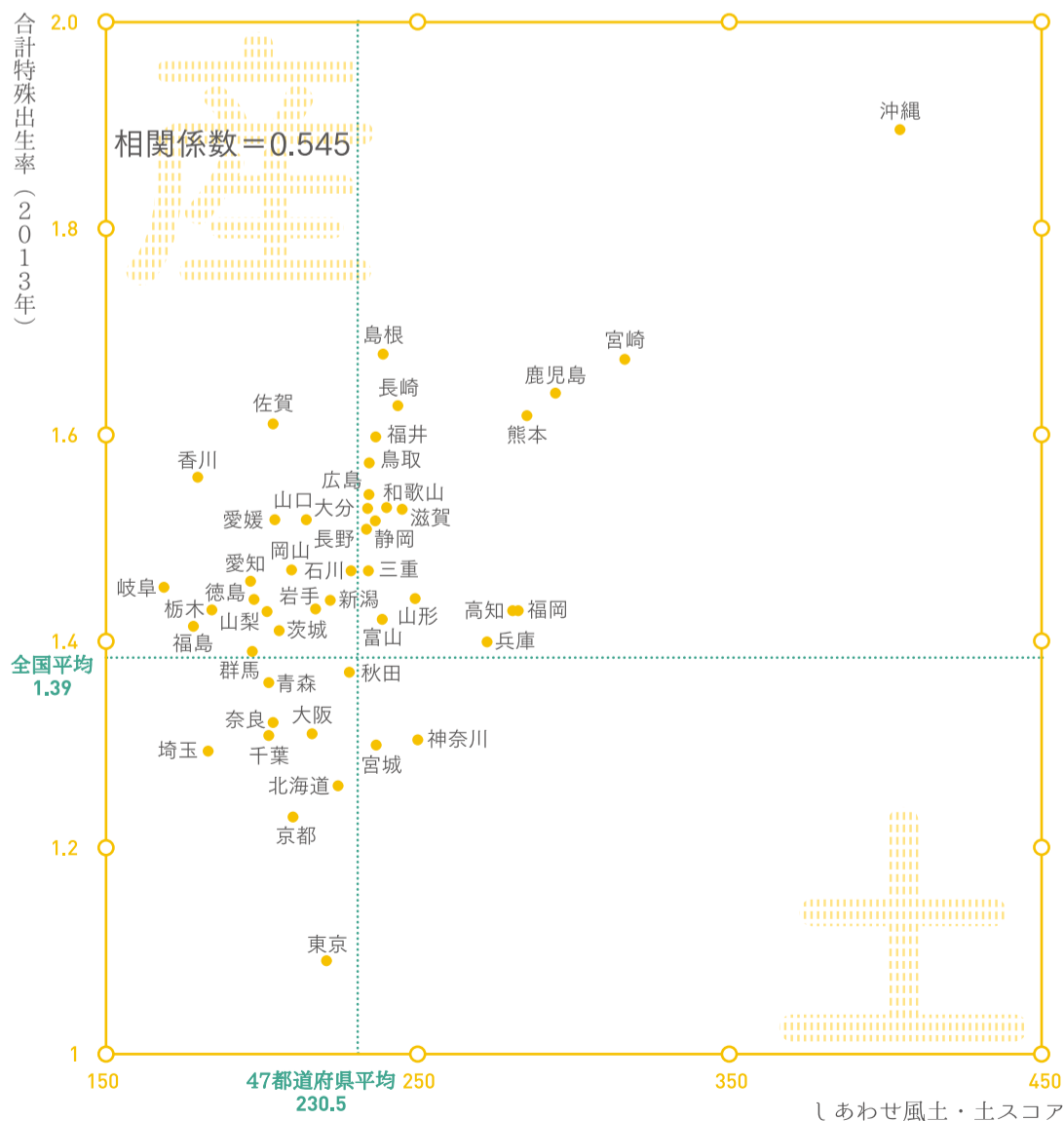
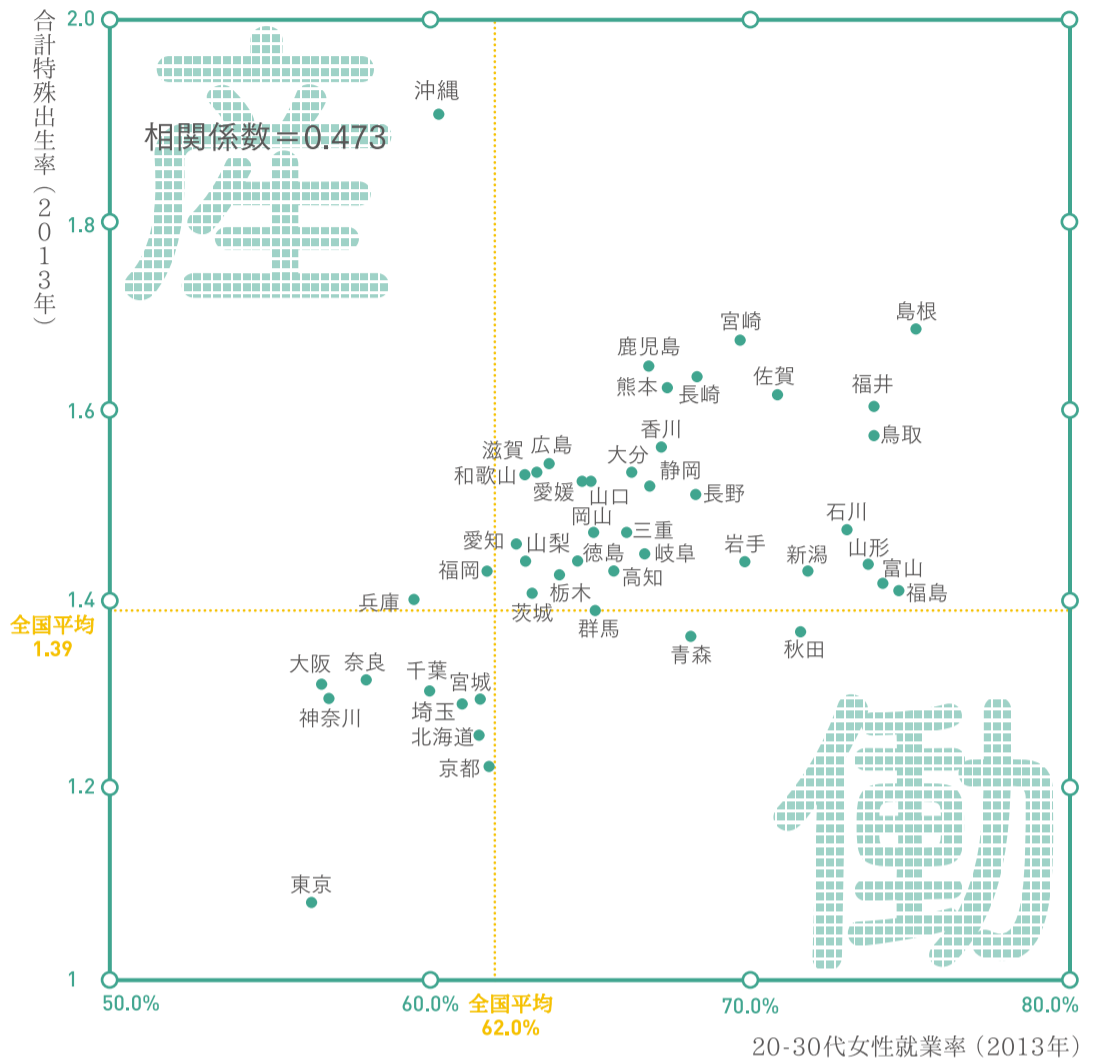
世帯年収



産むしあわせ、働くしあわせ

以前から女性の出生率に関して気になっているデータがありました。都道府県別の20-30代女性の就業率と合計特殊出生率に相関があるというデータです。日本の女性の年代別就業率はM字型を描きます。20代女性の就業率は男性とほぼ同じですが、結婚・出産を機にした退職により30-40代の就業率が一旦下がり、その後子育てが落ち着いたタイミングで仕事を再開するため、再度上昇します。欧米先進国と比べて、子育てと仕事を両立できる社会インフラや企業文化が不十分な日本の現状をあらわしています。右図の右上に位置する島根、福井、鳥取、佐賀、宮崎などの都道府県は女性の就業率と合計出生率が高い、すなわち働きながら産み育てる女性が多い地域です。この背景には、3世代同居などの家族環境（育児・家事を祖父母に任せられる）、地価・物価が安いなどの経済環境（金銭的に多くの子どもを育てられる）、共働きが定着しているという社会文化環境など、いくつかの要因が考えられます。

女性にとって子どもを産み育てること、働くことはしあわせとどんな関係があるのでしょうか？
下の図はしあわせ風土・土スコアと出生率の関係をあらわしたものです。相関係数0.545と高い相関が見られました（総合スコア、風スコアとも相関関係は見られ、土スコアとの相関係数が最も高い。）



6ページの子どもの数別の分析からも明らかなように、女性のしあわせと出産、子どもの有無には関係がありそうです。
働くこととしあわせの関係性はどのように？職業別幸福度は自営業・専門職・公務員・専業主婦・会社員の順であったように、仕事の有無ではなく、その内容や職場環境により幸福度は異なるようです。また、20-30代女性の就業率としあわせ風土スコアには相関は見られませんでした。必ずしも働くことが女性のしあわせにつながるとはいえないようです。少子化による人口減少を抑制するためには、出生率をあげる必要があります。そのためには女性が出産しやすい環境をつくる必要があります。しあわせ風土スコア、特に土スコアと出生率に相関が見られたように、地域に女性のしあわせを後押しする土壌が豊かであればあるほど、出生率はあがるということです。地方圏の人口減少の原因の一つに、若い世代、特に女性が東京圏他の都市圏に流出し戻ってこないことがあげられます。女性を地域に留めるために必要なのが雇用・働き口です。会社員のしあわせ風土スコアが専業主婦・自営業・専門職・公務員を下回っていたことが示すように、日本の会社組織は女性にとってしあわせな環境ではないようです。女性が働きやすい環境をつくること、出産しやすい環境をつくること、それが女性自身のしあわせであり、同時に地域のしあわせに違いありません。

女性は地域に何を求めているのか？

女性がしあわせを感じる地域にはどんなインフラ、環境、生活条件が備わっているのでしょうか。男女別に地域しあわせ風土スコアと相関性の高い項目のトップ10をあげてみました。男女でははっきりと違いがあることがわかります。女性はお祭り・イベント(1位)、地域活動の機会・支援(2位)、商店街・中心市街地(6位)、飲食・買い物店舗(7位)と人が集う場、楽しむ場を求めているようです。また、男性ではランク外の地域の知名度(3位)、国際性(5位)が上位にあがるように、地域外とのつながりや交流、地域のブランド力がしあわせと関連しているようです。また、小・中・

高教育が10位にあがるのも、女性ならではの子育ての視点でしょう。一方、男性のランキングには自治体の情報提供(1位)、防災施設・制度(4位)、環境保護(6位)、高齢者支援(7位)、医療支援(8位)、公務員の対応(9位)が登場するのが特徴的です。女性と比べて日常生活に関連する項目が少なく、自分の将来を危惧し、安全・安心を担保していることがしあわせにつながるようです。

女性

順位	アイコン	項目名	相関係数
1		お祭り・イベント	0.649
2		地域活動の機会・支援	0.623
3		地域の知名度	0.620
4		景観・まちなみ	0.599
4		国際性	0.599
6		商店街・中心市街地	0.572
7		飲食・買い物店舗	0.557
8		公園・スポーツ施設	0.547
9		娯楽施設・制度	0.534
10		小・中・高教育	0.519

男性

順位	項目名	相関係数
1	自治体の情報提供	0.534
2	地域活動の機会・支援	0.529
3	景観・まちなみ	0.499
4	防災施設・制度	0.483
5	公園・スポーツ施設	0.480
6	環境保護	0.465
7	高齢者支援	0.461
8	医療支援	0.439
9	公務員の対応	0.434
10	娯楽施設・制度	0.433

47都道府県別

地域しあわせ風土スコア

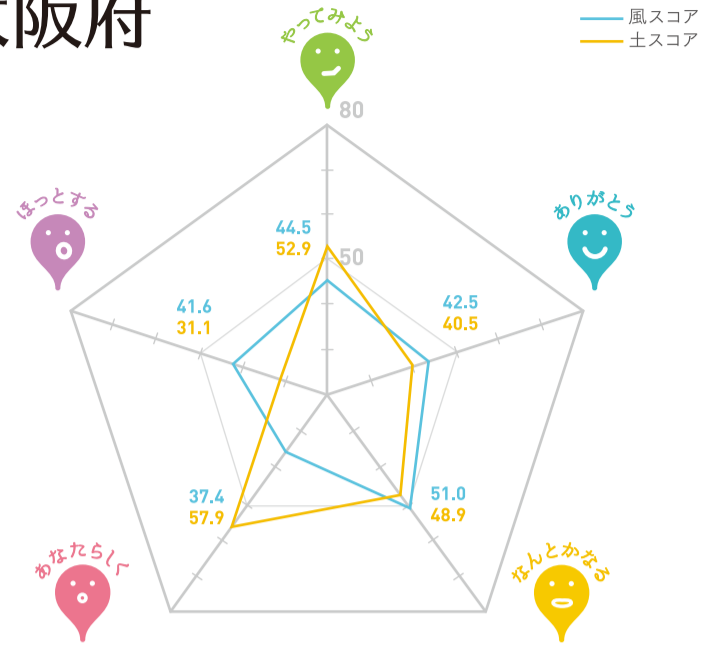
その4 大阪府～香川県編

各都道府県別に、以下の項目をまとめました。

- ・しあわせ風土スコア、風スコア、土スコアとその順位
- ・風5指標、土5指標の47都道府県内での偏差値(50が47都道府県平均)
- ・地域のインフラや環境に関する以下40項目の充実度(5段階評価の「非常に充実している」と「少し充実している」の合計スコア)の上位・下位5項目(47都道府県ランキングで上位のもの、下位のもの)

①働き口・求人の質や量 ②地場産業・地元企業支援の施設や制度 ③高齢者支援の施設や制度 ④医療・健康のための施設や制度 ⑤出産・育児支援のための施設や制度 ⑥障害者支援のための施設や制度 ⑦小学校・中学校・高校の施設や制度 ⑧大学・大学院・専門学校の施設や制度 ⑨社会人教育・生涯教育の施設や制度 ⑩レジャーや娯楽のための施設や制度 ⑪美術館・博物館 ⑫図書館 ⑬公民館・コミュニティセンターなどの交流施設 ⑭公園・スポーツ施設 ⑮地域活動の機会や支援制度 ⑯お祭り・イベント ⑰景観・まちなみ ⑱寺・神社・史跡などの歴史遺産 ⑲商店街・中心市街地 ⑳買い物や飲食の店舗の質と量 ㉑住宅の数や広さ ㉒家賃や土地の価格 ㉓日用品の価格・物価 ㉔道路などの自動車交通インフラ ㉕電車・バスなどの公共交通インフラ ㉖山・川・海などの自然環境 ㉗天候 ㉘農産物・水産物など食材の質や食文化 ㉙工芸品・工業製品などの質 ㉚水・空気の水質 ㉛省エネ・低CO2・環境保護への取り組み ㉜メディアや通信環境 ㉝電気・ガス・水道などの生活インフラ ㉞ごみ処理・リサイクルの施設や制度 ㉟治安・犯罪防止のための施設や制度 ㊱地震・水害・火事等防災のための施設や制度 ㊲地域の知名度 ㊳国際性・外国人の受け入れ ㊴公務員の対応やサービス ㊵地域の暮らしに関する自治体の情報提供

大阪府



総合 36位 (610.0pt)

風 37位 (420.7pt)

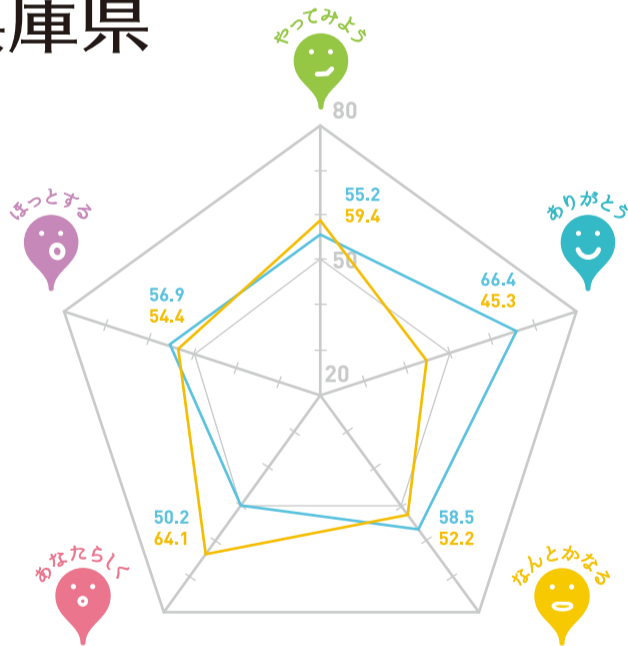
土 35位 (189.3pt)

風・土の順位は近いものの、形は異なる。買物や移動の利便性、電気・ガス・水道・公園などの生活インフラの評価が高い。一方、水・空気・食材・自然環境などの自然面、ものづくりや地価の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
公共交通インフラ	3	46.0
飲食・買い物店舗	4	38.7
自動車交通インフラ	5	43.0
電気・ガス・水道	5	47.7
公園・運動施設	7	39.3
商店街・中心市街地	7	27.3

▼充実度下位項目	ランク	充実度
地価・家賃	43	16.7
ものづくりの質	46	9.7
自然環境	47	21.0
食材の質・食文化	47	18.0
水・空気の水質	47	17.3

兵庫県



総合 7位 (688.7pt)

風 6位 (460.0pt)

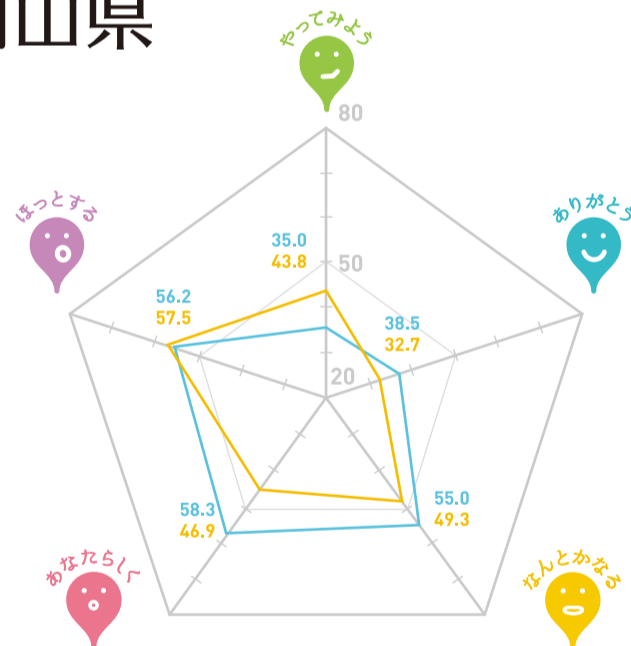
土 12位 (228.7pt)

風・土ともにトップ10水準。地域活動、自動車交通の評価が1位、医療、教育、娯楽、買物、電気・ガス・ゴミ等、様々な項目で評価が高い。一方、水・空気・食材・自然環境などの自然面の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
地域活動の機会・支援	1	27.3
自動車交通インフラ	1	50.0
医療支援	2	38.0
小中高教育	2	38.3
生涯教育	2	15.0
娯楽施設・制度	2	27.3
飲食・買い物店舗	2	46.3
メディア・通信環境	2	38.7
電気・ガス・水道	2	50.0
ゴミ処理施設・設備	2	44.3
公務員の対応	2	17.7

▼充実度下位項目	ランク	充実度
地価・家賃	20	23.3
ものづくりの質	34	17.7
自然環境	35	46.0
食材の質・食文化	36	34.7
水・空気の水質	39	35.0

岡山県



総合 33位 (626.7pt)

風 27位 (435.3pt)

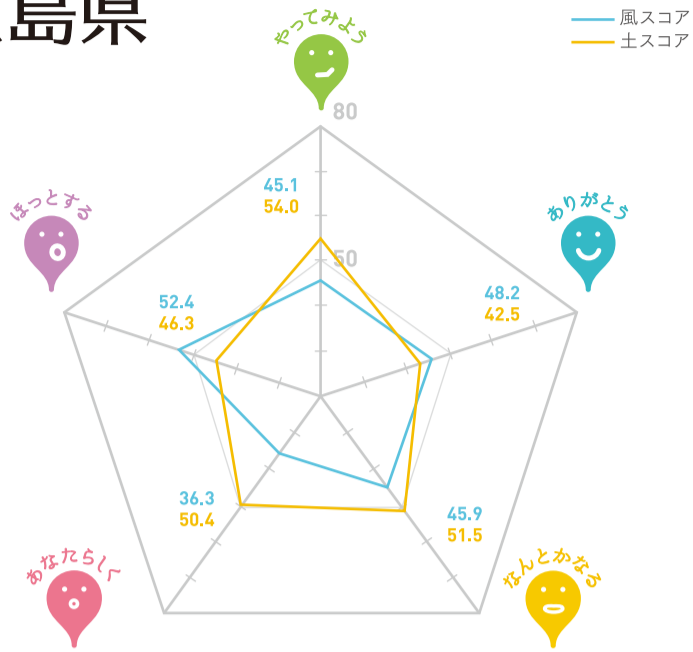
土 31位 (191.3pt)

風と土がほぼ同じ傾向。美術館・博物館・図書館と文化面、天候、医療、ものづくりなどの評価が高い。一方、歴史遺産、公務員の対応、水・空気・自然・環境保護などの自然面の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
美術館・博物館	1	39.0
天候	1	70.0
図書館	2	49.7
医療支援	5	32.3
ものづくりの質	5	28.7

▼充実度下位項目	ランク	充実度
水・空気の水質	26	49.0
環境保護	27	12.3
自然環境	28	51.0
公務員の対応	28	10.0
歴史遺産	34	28.7

広島県



総合 30 位 (629.7pt)

風 34 位 (426.3pt)

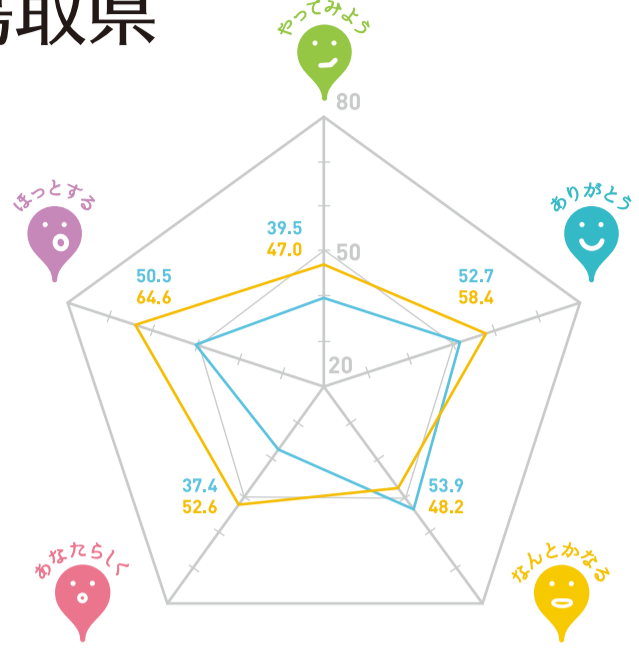
土 26 位 (203.3pt)

風と土の順位に差はあまりないものの、形が異なるのが特徴的。雇用や地場産業の支援など経済面、治安・自治体・公務員の対応の評価が高い。一方、水・空気・食材・自然環境などの自然面の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
働き口	3	22.3
地場産業支援	3	19.3
治安・犯罪防止	4	27.7
自治体の情報提供	5	18.0
公務員の対応	6	16.3

▼充実度下位項目	ランク	充実度
地価・家賃	28	21.0
自動車交通インフラ	30	27.7
自然環境	32	49.3
食材の質・食文化	32	39.0
水・空気の質	37	38.7

鳥取県



総合 17 位 (664.3pt)

風 32 位 (430.3pt)

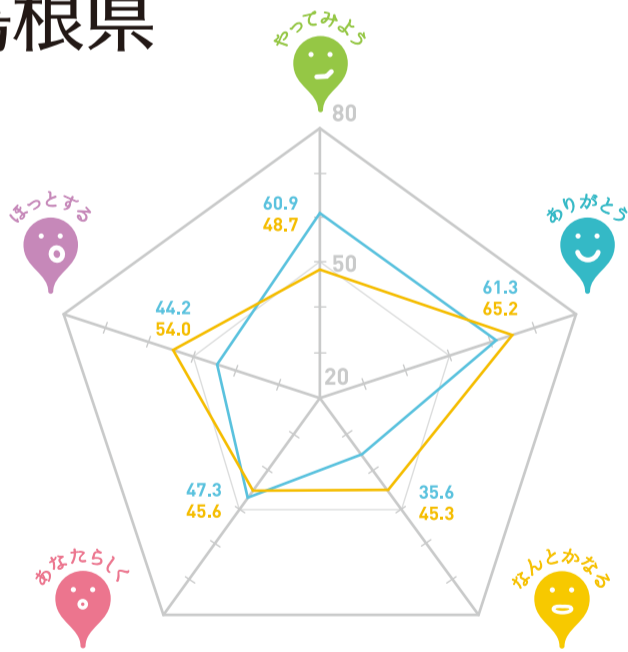
土 9 位 (234.0pt)

土はトップ10、風は30番台と差が大きい。土、風ともにほっとする、ありがとうが高い横長の五角形。自然・食・水などの自然環境面、防犯や育児・障害者支援の評価が高いものの、祭り・美術館などの文化面、雇用や産業面の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
自然環境	1	73.7
食材の質・食文化	2	61.0
水・空気の質	2	72.7
治安・犯罪防止	2	29.3
出産・育児支援	3	25.0
障害者支援	3	17.7

▼充実度下位項目	ランク	充実度
地場産業支援	44	5.3
働き口	45	4.0
生涯教育	45	5.3
美術館・博物館	45	10.3
お祭り・イベント	47	16.3

島根県



総合 19 位 (663.3pt)

風 23 位 (438.3pt)

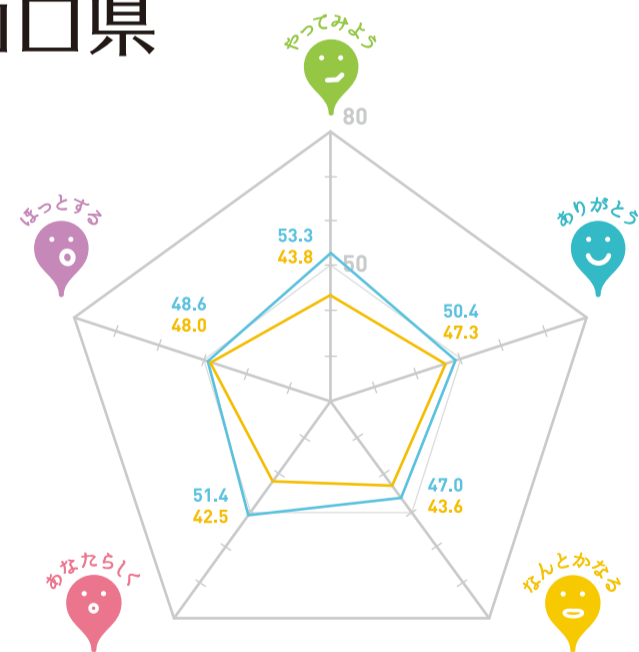
土 17 位 (225.0pt)

風と土の順位の差は小さい。風・土ともにありがとうが高いのが特徴的。自然環境と歴史・文化に恵まれており、安全である点の評価が高いものの、娯楽や買物、自動車および公共交通での移動の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
自然環境	2	72.3
歴史遺産	3	57.7
景観・まちなみ	5	42.0
美術館・博物館	8	28.3
治安・犯罪防止	8	26.3

▼充実度下位項目	ランク	充実度
商店街・中心市街地	42	4.7
公共交通インフラ	42	6.7
防災施設・制度	43	12.7
自動車交通インフラ	44	17.0
娯楽施設・制度	45	4.0

山口県



総合 28 位 (630.3pt)

風 21 位 (439.3pt)

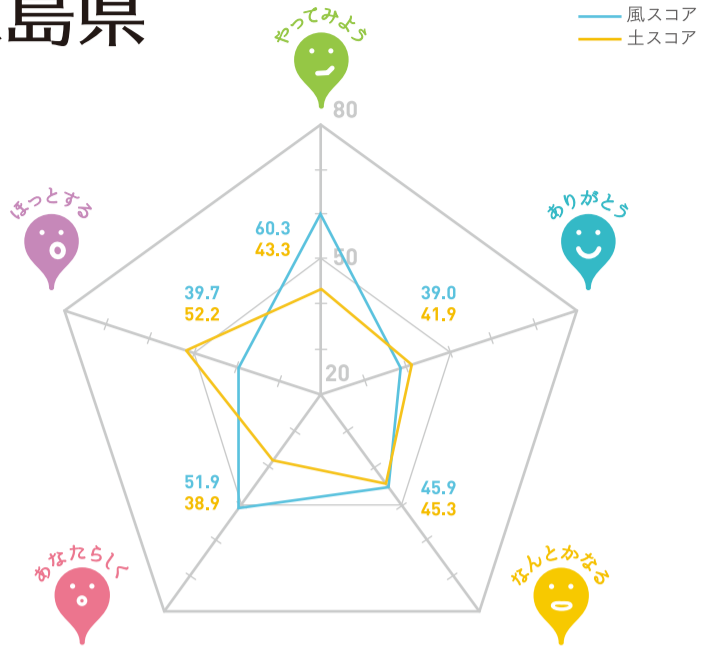
土 33 位 (191.0pt)

風、土ともにきれいな五角形。風が土より一回り大きい。自動車交通および図書館・美術館・歴史遺産などの文化面の評価が高いものの、買物・娯楽面、地価や住宅の数などの住宅面の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
自動車交通インフラ	3	48.3
天候	6	54.3
図書館	8	43.0
美術館・博物館	15	22.7
歴史遺産	16	35.0
公務員の対応	16	11.3

▼充実度下位項目	ランク	充実度
飲食・買い物店舗	38	14.0
住宅の数・広さ	38	28.3
地域の知名度	40	14.3
娯楽施設・制度	42	5.7
地価・家賃	42	17.3
商店街・中心市街地	44	3.7

徳島県



総合 35 位 (618.7pt)

風 30 位 (431.3pt)

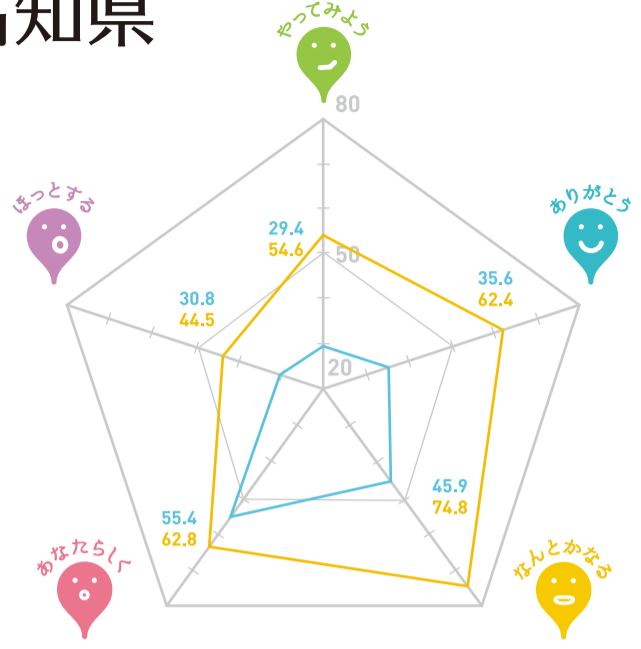
土 37 位 (187.3pt)

風、土、総合ともに30位代。風のやつてみようが高いことが特徴的。天候・自然・水・食などの自然環境面の評価が高いものの、自動車交通、防災、ゴミ・電気・ガス等の生活インフラ面の評価が低い。

項目	ランク	充実度
天候	12	51.0
自然環境	14	61.7
水・空気の水質	14	63.7
大学教育	16	13.3
食材の質・食文化	18	51.7

項目	ランク	充実度
公民館	46	20.3
電気・ガス・水道	46	28.0
ゴミ処理施設・制度	46	24.7
防災施設・制度	46	10.3
自動車交通インフラ	47	15.0

高知県



総合 15 位 (667.0pt)

風 44 位 (410.3pt)

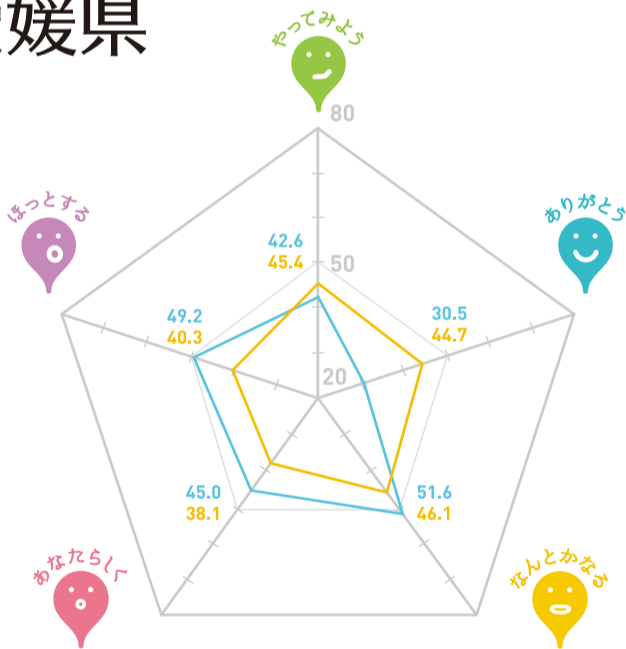
土 4 位 (256.7pt)

風が44位、土が4位と両スコア間の差がもっとも大きい自治体。自然・食・水・天候などの自然面の評価が高いものの、教育・文化・住宅・経済面10項目で47位になるなど評価が低い。

項目	ランク	充実度
自然環境	5	68.0
食材の質・食文化	6	56.7
水・空気の水質	7	69.0
防災施設・制度	15	18.0
お祭り・イベント	16	31.3
天候	16	46.7

項目	ランク	充実度
図書館	47	18.7
住宅の数・広さ	47	18.7
公民館	47	16.7
小中高教育	47	16.7
公園・運動施設	47	14.0
メディア・通信環境	47	14.0
物価	47	13.7
地価・家賃	47	9.7
出産・育児支援	47	7.7
生涯教育	47	4.0

愛媛県



総合 41 位 (602.0pt)

風 36 位 (421.3pt)

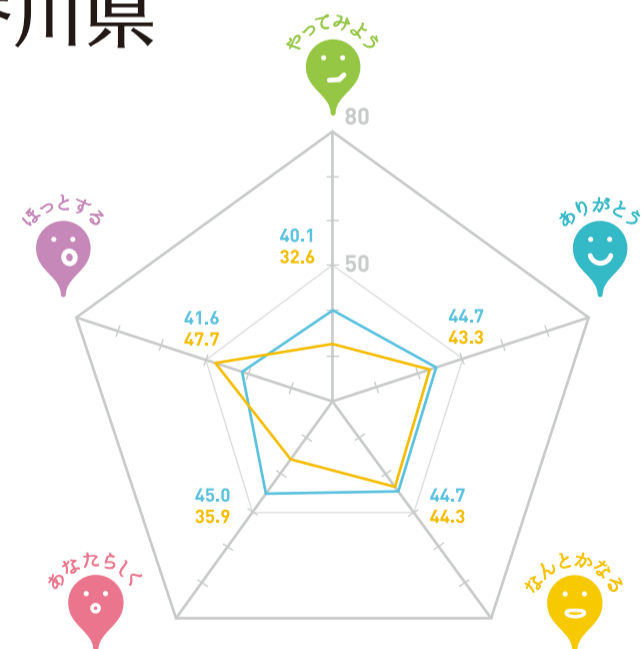
土 41 位 (180.7pt)

お隣の香川同様に風、土ともに40番前後。天候、障害者や育児支援、お祭、地価の評価が高いものの、防犯、防災、ゴミ・電気などの生活インフラ面の評価が低い。

項目	ランク	充実度
天候	5	56.7
障害者支援	12	14.0
お祭り・イベント	14	33.0
地価・家賃	15	25.0
出産・育児支援	17	18.3

項目	ランク	充実度
電気・ガス・水道	38	33.7
ゴミ処理施設・制度	38	31.0
図書館	39	30.3
防災施設・制度	39	13.3
自治体の情報提供	42	9.0
治安・犯罪防止	43	18.3

香川県



総合 43 位 (595.0pt)

風 39 位 (420.3pt)

土 43 位 (174.7pt)

お隣の愛媛同様に風、土ともに40番前後。天候、育児支援、自動車交通、公民館、商店街の評価が高い。一方、環境保護やゴミ処理などの環境面、地域活動、国際性、公共交通の評価が低い。

項目	ランク	充実度
天候	3	60.0
出産・育児支援	10	21.7
自動車交通インフラ	12	37.0
公民館	15	34.0
商店街・中心市街地	16	15.3

項目	ランク	充実度
ゴミ処理施設・制度	32	33.0
公共交通インフラ	34	9.7
地域活動の機会・支援	38	11.7
国際性	41	8.0
環境保護	42	8.7

データ

47都道府県別の女性のしあわせ風土スコア、風スコア、土スコア、5つの指標別のスコア、ランキングを紹介します。

都道府県	しあわせ風土スコア [女性]			風スコア [女性]			土スコア [女性]			やってみようスコア [女性]		
	ランキング	スコア	男女差	ランキング	スコア	男女差	ランキング	スコア	男女差	ランキング	スコア	男女差
全国平均		681.9	61.7		451.8	24.0		230.1	37.7		127.3	-26.5
北海道	22	676.5	1.8	24	452.5	7.2	25	224.0	-5.3	27	124.5	-56.2
青森県	31	656.7	-79.3	20	454.0	-13.3	38	202.7	-66.0	28	124.0	-62.7
岩手県	33	654.0	-7.3	35	432.0	-9.3	26	222.0	2.0	40	115.3	-41.3
宮城県	16	697.3	28.7	13	460.7	0.0	17	236.7	28.7	12	131.3	-30.0
秋田県	35	650.0	-18.7	40	422.0	-9.3	24	228.0	-9.3	28	124.0	-34.7
山形県	14	698.0	89.3	26	448.7	24.7	9	249.3	64.7	25	126.7	-28.0
福島県	45	610.0	-68.0	35	432.0	-12.7	46	178.0	-55.3	32	121.3	-50.7
茨城県	43	623.3	29.3	45	416.7	-10.0	33	206.7	39.3	31	122.0	-34.7
栃木県	30	658.0	10.7	8	473.3	42.0	43	184.7	-31.3	40	115.3	-56.0
群馬県	47	588.7	-39.3	47	390.0	-38.7	40	198.7	-0.7	42	113.3	-39.3
埼玉県	38	636.0	10.0	22	452.7	-0.7	44	183.3	10.7	21	129.3	-4.7
千葉県	36	647.3	-1.3	30	444.0	-8.0	36	203.3	6.7	23	128.0	-36.7
東京都	11	704.0	76.0	6	483.3	86.0	27	220.7	-10.0	7	138.0	-32.0
神奈川県	9	707.3	37.3	16	457.3	5.3	8	250.0	32.0	3	148.0	-26.0
新潟県	26	665.3	33.3	27	447.3	-13.3	28	218.0	46.7	9	132.7	-18.0
富山県	28	660.0	90.7	42	421.3	5.3	14	238.7	85.3	39	118.7	-18.7
石川県	11	704.0	185.3	7	474.7	118.7	23	229.3	66.7	12	131.3	-7.3
福井県	20	690.0	12.0	22	452.7	-2.7	15	237.3	14.7	36	120.0	-38.0
山梨県	23	673.3	46.0	9	470.7	68.7	38	202.7	-22.7	15	130.7	-35.3
長野県	23	673.3	44.0	32	441.3	4.7	22	232.0	39.3	22	128.7	-26.7
岐阜県	44	616.7	36.0	27	447.3	44.7	47	169.3	-8.7	46	107.3	-26.0
静岡県	19	690.7	138.0	21	453.3	70.7	15	237.3	67.3	15	130.7	2.7
愛知県	38	636.0	65.3	33	439.3	16.7	42	196.7	48.7	26	125.3	-19.3
三重県	21	678.0	11.3	31	443.3	-0.7	18	234.7	12.0	24	127.3	-37.3
滋賀県	13	700.0	140.0	19	454.7	52.0	10	245.3	88.0	9	132.7	-6.7
京都府	7	714.7	86.0	4	504.7	86.7	31	210.0	-0.7	8	137.3	-41.3
大阪府	40	634.0	90.0	43	418.0	31.3	29	216.0	58.7	32	121.3	0.0
兵庫県	5	768.7	48.0	5	496.0	0.7	7	272.7	47.3	2	149.3	-18.0
奈良県	27	662.0	-43.3	14	458.7	-14.0	36	203.3	-29.3	15	130.7	-38.0
和歌山県	16	697.3	124.7	16	457.3	50.0	12	240.0	74.7	42	113.3	-24.0
鳥取県	34	650.7	80.7	46	416.0	31.3	18	234.7	49.3	45	108.0	-30.0
島根県	14	698.0	95.3	14	458.7	28.0	13	239.3	67.3	12	131.3	-14.7
岡山県	41	627.3	-11.8	44	417.3	-34.0	31	210.0	22.2	47	104.0	-45.3
広島県	31	656.7	16.7	40	422.0	-28.0	18	234.7	44.7	20	130.0	-43.3
山口県	25	666.7	104.0	25	452.0	40.7	30	214.7	63.3	11	132.0	-5.3
徳島県	41	627.3	17.3	37	430.0	-0.7	41	197.3	18.0	15	130.7	-12.0
香川県	46	605.3	45.3	39	425.3	33.3	45	180.0	12.0	44	108.7	-26.0
愛媛県	28	660.0	50.0	18	456.0	38.0	34	204.0	12.0	30	122.7	-44.0
高知県	8	708.0	98.0	38	426.0	-6.7	6	282.0	104.7	32	121.3	-21.3
福岡県	6	728.7	40.0	29	446.0	0.7	5	282.7	39.3	6	141.3	-34.0
佐賀県	37	641.3	91.3	34	437.3	34.7	34	204.0	56.7	37	119.3	-16.0
長崎県	10	706.0	67.3	12	462.7	38.0	11	243.3	29.3	35	120.7	-46.7
熊本県	3	791.3	235.3	3	506.0	96.7	4	285.3	138.7	4	146.0	-9.3
大分県	18	695.3	69.3	11	462.7	68.0	21	232.7	1.3	37	119.3	-34.7
宮崎県	4	784.0	198.0	10	467.3	44.0	2	316.7	154.0	15	130.7	-23.3
鹿児島県	2	814.7	230.0	2	519.3	104.0	3	295.3	126.0	5	144.7	5.3
沖縄県	1	932.0	367.3	1	526.0	126.0	1	406.0	241.3	1	181.3	37.3

都道府県	ありがとうスコア [女性]			なんとかなるスコア [女性]			あなたらしくスコア [女性]			ほっとするスコア [女性]		
	ランキング	スコア	男女差	ランキング	スコア	男女差	ランキング	スコア	男女差	ランキング	スコア	男女差
全国平均		181.5	27.7		100.4	5.2		107.1	1.3		165.6	31.4
北海道	35	173.0	-7.7	22	100.3	-8.3	10	117.7	2.3	33	161.0	26.3
青森県	37	170.7	-16.0	27	96.7	-39.3	29	98.7	-33.3	22	166.7	28.0
岩手県	7	198.7	42.0	40	86.7	-24.7	43	90.7	-23.3	28	162.7	18.7
宮城県	6	199.3	38.0	12	105.3	0.0	15	110.7	3.3	42	150.7	4.0
秋田県	13	188.0	29.3	39	87.3	-11.3	35	95.3	-18.7	36	155.3	-3.3
山形県	10	196.0	41.3	18	101.3	16.7	20	106.0	-2.0	19	168.0	32.7
福島県	29	175.3	3.3	45	78.7	-26.0	46	84.7	-32.7	43	150.0	1.3
茨城県	36	171.3	14.7	47	72.0	-19.3	45	88.0	-18.7	15	170.0	52.7
栃木県	32	174.0	2.7	16	102.0	2.7	28	100.7	3.3	25	166.0	22.0
群馬県	41	163.3	10.7	46	76.7	-16.7	43	90.7	-7.3	47	144.7	-10.7
埼玉県	44	159.3	25.3	38	88.0	-15.3	30	97.3	-15.3	30	162.0	16.7
千葉県	45	153.3	-11.3	24	98.0	-7.3	12	112.7	3.3	36	155.3	32.7
東京都	42	162.7	-7.3	12	105.3	11.3	2	135.3	47.3	28	162.7	9.3
神奈川県	22	180.7	6.7	30	93.3	-10.7	5	128.0	22.7	35	157.3	14.0
新潟県	26	178.0	27.3	33	90.7	-8.0	37	94.7	-12.0	16	169.3	22.0
富山県	20	181.3	44.0	35	88.7	0.0	30	97.3	6.7	13	174.0	42.0
石川県	23	179.3	40.7	11	106.0	38.0	22	105.3	24.7	5	182.0	57.3
福井県	16	187.3	29.3	29	94.7	-26.0	15	110.7	-18.0	8	177.3	47.3
山梨県	13	188.0	22.0	34	89.3	0.7	19	106.7	8.7	34	158.7	18.7
長野県	9	197.3	42.0	41	86.0	-5.3	37	94.7	-14.0	22	166.7	20.0
岐阜県	40	166.0	32.7	44	79.3	-12.7	30	97.3	-6.7	22	166.7	44.7
静岡県	20	181.3	53.3	16	102.0	28.0	27	102.0	3.3	12	174.7	47.3
愛知県	39	166.7	22.0	26	97.3	7.3	42	91.3	-14.7	36	155.3	39.3
三重県	33	173.3	8.7	8	112.7	28.0	26	102.7	-4.7	30	162.0	12.7
滋賀県	27	176.7	37.3	20	100.7	20.7	11	114.0	21.3	10	176.0	53.3
京都府	25	178.7	0.0	12	105.3	24.0	6	126.0	30.0	20	167.3	31.3
大阪府	46	150.7	29.3	18	101.3	11.3	12	112.7	17.3	45	148.0	32.7
兵庫県	12	189.3	22.0	6	124.7	6.7	7	125.3	-6.0	6	180.0	24.7
奈良県	29	175.3	6.7	20	100.7	-10.0	25	103.3	-18.0	41	152.0	-6.0
和歌山県	13	188.0	50.7	7	116.7	42.7	17	110.0	3.3	16	169.3	47.3
鳥取県	16	187.3	49.3	32	92.0	2.0	47	84.0	-12.7	7	179.3	49.3
島根県	4	206.7	60.7	35	88.7	-6.7	20	106.0	6.0	26	165.3	32.0
岡山県	47	147.3	-2.0	27	96.7	-1.3	23	104.0	-7.8	11	175.3	36.5
広島県	38	170.0	-3.3	24	98.0	-8.0	33	96.7	-14.0	30	162.0	38.7
山口県	33	173.3	36.0	35	88.7	3.3	35	95.3	-6.0	8	177.3	61.3
徳島県	43	161.3	18.7	42	83.3	-9.3	33	96.7	-6.7	36	155.3	28.0
香川県	31	174.7	40.0	42	83.3	-4.7	39	93.3	1.3	46	145.3	22.7
愛媛県	23	179.3	12.7	23	100.0	12.0	40	92.7	-10.7	26	165.3	37.3
高知県	11	194.7	52.0	3	130.7	32.0	12	112.7	12.0	44	148.7	10.7
福岡県	18	184.7	9.3	15	104.7	5.3	3	129.3	12.0	18	168.7	14.7
佐賀県	19	182.7	47.3	30	93.3	14.7	40	92.7	-3.3	40	153.3	34.0
長崎県	8	198.0	30.7	9	110.7	7.3	23	104.0	-6.7	14	172.7	48.0
熊本県	5	203.3	48.0	4	128.0	51.3	3	129.3	38.7	4	184.7	71.3
大分県	28	176.0	22.0	10	109.3	3.3	8	123.3	-1.3	26	167.3	46.7
宮崎県	3	220.0	66.0	2	132.0	38.7	17	110.0	13.3	1	191.3	84.0
鹿児島県	2	234.0	94.7	5	127.3	32.0	9	122.0	30.7	3	186.7	45.3
沖縄県	1	238.0	94.0	1	165.3	84.7	1	158.7	51.3	2	188.7	64.7



しあわせ地域ケーススタディ03

“あなたらしく” “やってみよう” を
“結の心” でみんなで支える

福井内陸の隠れしあわせ先進地域

大野市 (福井県)

お互いを支え合う文化、 “結の心” が自然と根づいた町

福井県大野市。荒島岳など、周囲が1,000メートル級の高い山々に囲まれた盆地地形となっており、冬は福井県内でも有数の豪雪地帯だ。

そういった環境がおいしい水を育み、今だ生活用水の8割が地下水という、全国でも稀な「名水の町」である。米やそば、里芋などの農産物や日本酒が有名なのは、そのおいしい水による恩恵が大きい。また、山頂にそびえる大野城と短冊状に区切られた街並み、中世から近世にかけて築かれた寺院が連なる寺町通り、400年以上続くといわれる七間朝市など、歴史を感じさせる景観から「北陸の小京都」とも呼ばれている。高い山々に囲まれた盆地、豪雪地帯ということが大きく影響し、外からの移住者も少なかったことから、大野は独自の文化、地域性を育んできた。

「Cafe Name came Ono」経営者で福井市出身の二見祐次さん(50歳)は、大野に住む人たちの人間性に魅了された一人だ。「大野の人は穏やかなんです。喧嘩や争いごとも見ることがない」。食品卸売会社の社員をしていたときに福井県中を営業でまわっていたが、商品の在庫を切らしたときなど、取引先に叱責罵倒されることは日常茶飯事。しかし、大野市内の取引先は、「どんならんな(どうにもならないな、仕方ないね)」と拍子抜けするぐらい、おおらかな返答なのだという。

「大野の自然の雄大さが影響しているのか、懐が深いんですよね。なんでも受け入れてくれるというか、前向きというか。自分の利益優先で動くような人がいない。商売していて同業者に



対してもライバル意識がないんです。“あなた同業者なの？じゃあ、一緒にやろう”って。ガツガツしていない。協力し合う文化、助け合う文化、“結”の気持ちが根づいているんです」。

そのことを裏付けるエピソードがある。グラフィックデザイナーで、イベント企画などを手がける長谷川和俊さん(30歳)は、ミュージックフェスティバルを企画したとき、他の団体のイベントと開催日が被ってしまった。「そういう時って、集客ができないようにイベントを妨害したりする人たちもいるみたいなんですけど、“イベントを一緒にしてしまったらいいんじゃない？”と先方が提案してくれて、同時開催しました」。

長谷川さんは生まれも育ちも生粋の大野人。「大野がどうやら特別らしい」と気づいたのは、市外から来た人たちの言葉からだった。

「水がおいしい、食べ物がおいしい。人がやさしい。自然が豊か。周りのことは気にせずマイペース。フリースピリット——。全部、自分たちには当たり前のことだったけど、それが実はスペシャルなことだった。誰かが困っていたら、すぐに人が集まって助け合う。そういう大人たちを見て育っているから、自分たちも自然とそうなった。みんなそんな大野が大好きだし、大切にしたいし、自慢したいんです」。

ミュージックフェスティバルに参加してくれた

ミュージシャンたちも、そんな大野の自由な雰囲気、素晴らしい自然環境、おいしいご飯に感動して、大野のファンになるそうだ。「今度はいつ呼んでくれるの？」と問い合わせが絶えないんですよ、と長谷川さんはうれしそうに笑う。



“地域おこしイベント”も自発的に みんなで協力し合って開催

市役所に勤める、雨山直人さん(31歳)は、大野のソウルフード「とんちゃん」(ホルモン焼き)を愛してやまない若者の集まり、「越前おおのとんちゃんを愛でる会」の創立メンバー。「とんちゃん祭」を5年連続開催、全国からホルモン好きが集まり、知名度もどんどんあがっている。雨山さんのような市役所の若手職員たちが「仕事」という感覚を抜きにして、自発的に“地域おこし”を率先して行っているのも大野では特徴的といえる。そのほかにも、福井の新しい名物「醤油カツ丼」を広めるべく、「世界醤油カツ丼機構」を設立したメンバーの一人も役場職員だ。市役所の上司や先輩たちの理解や後押しがあり、若い人たちが“やりたい”と思って行動し

たことに対して、協力を惜しまないのだという。それは市役所だけのことでなく、大野で脈々と引き継がれてきた、若者と年配者との友好的関係性といえる。「おんちゃん(おじさん)たちが元気ですからね！こっちが負けているぐらいです」と雨山さん。その元気が若い人たちの目標になり、指針となり、頑張りにもつながっている。



コーヒーショップ「モモンガコーヒー」の店主、牧野俊博さん(34歳)は高校卒業後、東京の大学に進み、そのまま大手電機メーカーに就職した。「何もない大野がずっと嫌いだ。母が体調をくずしたことをきっかけに帰郷したんですが、何でもある東京にもどりたくて仕方がなかった」。そんな時、何気なく訪れたのが、前述の「とんちゃん祭」。自分とあまり年齢の変わらない若者たちが主宰していたことに衝撃を受けた。「こんなこと、実現できちゃうんだって驚きました。みんな一生懸命で、とても楽しそう。もしかしたら、大野ってすごいんじゃないかって」。そんなとき、「とんちゃん祭」主催者の一人から「ワークショップをするからよかったらおいで」と誘われた。「大野をどんな町にしたいか、みんなで話し合っただけです。マッキー(牧野さん)は何をしたいの？って言われて、「僕は、大野でコーヒーショップをやる」って、みんなの前で宣言しちゃった(笑)。そしたら、「応援するよ〜！」ってみんなに背中を押された感じです」。牧野さんは大学時代に喫茶店でアルバイトし、ドリップで入れたコーヒーのおいしさに開眼、以来、大のコーヒー好きに。「大野は水がおいしい。この水でコーヒーを淹れたら、おいしいコーヒーになるに違いない。城下町の名残がある、七間通り周辺に店を出せたらなあ」と漠然とイメージしていた時だった。それまで大野には自家焙煎のコーヒーショップはなかった。それからというもの、ワークショップで知り合った人たちからどんどん友人の輪が広がっていき、5月に「モモンガコーヒー」がオープンするまでいろんな人が手を貸してくれた。小さな町だから、あっという間につながるのも大野らしい。町なかにこだわり、場所は六間通りと五番通りの交わるところにした。「いろんな人たちが訪れてくれて、恐いぐらいに順調です(笑)。先日も東京からわざわざ、ここを目指して来てくれて。それも周りの助けがあったからこそ。駐車場からちょっと歩くんですけど、町の風景を楽しみながら歩いてきてもらうのもいいかって」と牧野さん。



おんちゃん(おじさん)たち 先輩が築いた、音楽を愛する環境

自由なマインドを持ったおんちゃん代表なのが、島田健一さん(62歳)だ。島田さんは「ハロー音楽舎」という音楽のPA(電気音響設備のエンジニア)ボランティア集団を70年代に結成した。イベントをしたくても音響を管理できる人がいなかったからだ。音楽好きが集まった「ハロー音楽舎」だが、音響に関しては素人ばかり。資金がないのでスピーカーも当初は手作りしていた。「ハロー音楽舎」があるおかげで、大野の人たちにとってイベントを開くことは特別なことではない。主婦だって、若者だって気軽にイベントを開くことができる。前述のイベントの企画を手がける、長谷川さんも島田さんを頼りにする一人だ。「ほとんど利益にならない活動を続けていく理由は？」と島田さんに聞くと、「(イベント行って)楽しかったねえ」という、来てくれた人の笑顔ですね」と笑う。そんな島田さん、お願いされると「NO」といえない性格で、「なんとかしよう！」とイベントを引き受けすぎてしまうことがある。そんなときは、「ハロー音楽舎」のスタッフやOBが総出で集まって対処するのだそうだ。「40年近くも続けてこられたのは、こんな自分につきあって周りが手伝ってくれたからです。本当にありがたい」と島田さん。



大野では、昔から田んぼの田植えや稲刈りのシーズンになると、人知れず人が集まってきて、助け合うことが普通だった。そういった結の心の精神が大野の人のDNAに深く根づいている。だからこそ、今でも困っている人がいれば、手を差し伸べ(押し付けがましくないのが大野人)、頼みごとにも快く応じてくれる(私なん

かでお役に立つかしら？と、どこか遠慮がちなのも大野人)。

「大野ってやっぱりどこにもない場所。市外に出るとたまに愛しくなって、帰ってきたくなる。福井県人、というよりも大野人という意識が強くなりました」と鉢植えアーティストの高見瑛美さん(29歳)。福井市内で働いていたときに、実家の山が恋しくなり、子どもの頃に山で遊んだ経験が、なによりも貴重な体験だったと気づいたそうだ。いまではそんな経験を生かし、山ブドウやいちぢく、ムベなど山の四季を感じさせる木々の鉢植えを制作するようになった。そんな、大野を愛する人たちがたくさん住んでいる町は、平和な雰囲気に満ちあふれている。



DATA



- 人口 35,370人(平成26年9月1日現在)
- 面積 872km²
- 高齢化率 29.46%(平成24年3月31日現在)

古くから、越前・美濃両国を結ぶ交通の要所だった大野は、南北朝(1332年～)の初めごろ城下町として発展。天正元年、朝倉氏の滅亡後、一時は一向一揆の支配下となったが、天正3年(1575年～)、織田信長の部将金森長近が戦功により大野の大部分を統治。以後、430年間、大野は奥越前の中心地として栄えてきた。大野市は日本百名山のひとつ「荒島岳」などの山々があり、名水百選の「御清水」をはじめ多くの湧き水がある。また夜空がきれいなことから「星空の街」にも選定。特産物として米、里芋、そばなどが有名。

編集後記

20-30代女性が半減し出生数が激減する「消滅危機自治体」という言葉が話題になりました。日本社会は急激な人口減少の危機を迎えています。雇用不足により地方都市圏から大都市圏への人口流出が進むことが地域の人口減少に拍車をかけています。この危機を乗り越えるためにカギをにぎるのが「女性のしあわせ」です。本号の分析で、地域のしあわせ風土スコアと出生率に相関があること、子どもの数が3人の女性が最もしあわせであること、社員の女性が専業主婦・自営業・専門職と比べてスコアが低いことなどが明らかになりました。今、地域が早急にやらなければならないことは女性の大都市圏への流出を防ぐこと、逆にU・Iターン（里帰りや移住）を増やすための手を

打つことでしょう。そのために必要なのが雇用・働き口です。今まで地方に雇用を生むというと、公共工事や工場誘致などの大きな仕事、男性中心の仕事でした。今求められているのは、女性が専門性を発揮できる小さな仕事です。全国各地で地域の恵まれた資源を活用した食の加工品づくり、カフェや飲食店経営、デザイン性に優れた伝統工芸品づくりなどに取り組む女性たちが増えています。そんな女性がいきいきと働ける場づくり、そのためのスキル習得や資金面の支援など、地方自治体ができることはまだまだあるはずです。

そのために、僕らもできることをこれからやっていきたい、そんな思いにかられた第4号の制作でした。

バックナンバー



次号は

『しあわせと移住 ：人はどこへ移り住むのか』

人は進学、就職、結婚などの人生の節目節目で居住地を変える行動をとります。その移住先は自分の意志とは無関係に仕事や家庭の都合などで決まるのが一般的でしょう。しかし、近年では、自分や家族の求めるライフスタイルに合わせて、自分の住まいを変える人が増えています。まさに、しあわせを求めた移住です。次号のテーマは「しあわせと移住」です。人はどんなしあわせを求めて居住地を変えるのでしょうか？人口減少時代を乗り切る対策の一つとして、地方自治体で注目されている移住対策のヒントを探します。

ローカルハピネス No.04

2014年11月20日発行

編集 笈 裕介
特別協力 前野 隆司
(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長)
調査・分析 竹井 真希
取材・執筆 高山 裕美子
アートディレクション 水内 智英
デザイン 神谷 涼子
編集アシスタント 馬場 麻理子

発行所 issue+design / hakuodo i+d
〒107-6322 東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー 11階 1107c
tel.03-6441-7752 fax.03-6441-7749
<http://issueplusdesign.jp/>

Copyright © 2014 issue+design All Rights Reserved.



地域課題解決と人材育成の Social Design School

何も無いこのまちに、どうやったら観光客を呼べるだろう？

このまちの自然を活用した新しい特産品が作れないかな？

うつ、孤独死、生活習慣病。心と体に病を抱える住民のために、何が出来るだろう？

女性が暮らしやすい、働きやすい地域って、どういうところだろう？

若い人がここで起業して、住み続けてくれないかな？

住民のしあわせのために、どんな総合計画をつくればいいのだろうか？

<http://socialdesignschool.jp>



地域
しあわせ
ラボ
by 地域みらい大学

共同研究・受託研究募集中

地域しあわせラボでは、人口減少が急激に進む日本、地域における住民のしあわせの本質と構造を明らかにする調査・研究を行っております。全国15,000人調査をベースに、日本各地の自治体向けに、住民の幸福度を最大化し、人口減少を抑制するために必要なまちづくりや計画づくりを支援する調査・研究・コンサルティングサービスを提供してまいります。以下のような課題に直面している自治体の皆様はお気軽にお問い合わせください。

- ◎自分たちの地域の幸福度は全国的にみてどの程度なのだろうか？
- ◎どんなところに弱み、強みがあるのだろうか？
- ◎住民の定着、移住（流入）を促すために、何をすべきなのだろうか？
- ◎どんな計画、ビジョンをつくり、政策を実施していくべきなのだろうか？
- ◎女性が働き、子どもを産み、育てやすい地域とするために何が必要なのだろうか？

<http://issueplusdesign.jp/project/local-happiness>